

内容項目名	よりよい学校生活，集団生活の充実（内容項目C－（16））		
資料名	「ホペイロのヤマさん」（出典「ゆたかな心」光文書院）		
学校名	市原市立水の江小学校	指導者	岡戸 美喜子

1 学習指導案

小学校5年1組 道徳学習指導案

平成29年11月22日（水）5校時

（1）主題名

主体的に自分の責任を果たす

（2）ねらい

身近な集団に進んで参加し，自分の役割を自覚し，協力して主体的に責任を果たそうとする心情を育てる。

（3）主題設定の理由

本主題は，学習指導要領の高学年の内容項目C－（16）「よりよい学校生活，集団生活の充実」の「先生や学校の人々を敬愛し，みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに，様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。」に関わるものである。

高学年になり，学級の係活動だけでなく，委員会活動や学校行事など，学校生活の中で責任ある仕事を担うようになってきた。ほとんどの児童が自分の役割を果たそうと一生懸命になって活動している。しかし，集団の中での自分の役目を軽視し，主体的に集団に関わろうとしない児童も見られる。また，友達やいろいろな人たちの支えのもとに生活しているということにも，意識が向いていない児童も多く見られる。

そこで，まず自分が属している身近な集団の活動に積極的に参加し，自分の役割を自覚させることが大切になってくる。役目や出番が少なくても誰もが重要な役割を担っている集団の中でなくてはならない存在であることに気付かせ，自分の役割や責任を果たそうとする態度を育てたい。

（4）展開

過程	学習活動と主な発問	予想される反応	教師の支援
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 ○この人を知っていますか。 ○サッカーチームという集団を支えている人たちには，どんな人がいるだろう。	・長友選手 ・選手 ・監督 ・コーチ ・サポーター	・長友選手の写真を見せる。 ・山川さんの写真を見せる。 ・サッカーチームに，「ホペイロ」という仕事があることを伝える。 ・ねらいとする価値への方向付けをする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 集団生活をよりよくしていくには，どうしたらよいか考えよう。 </div>			
展開 (30)	2 資料を読み話し合う。 ○ヤマさんは，どんな仕事をしていますか。	・用具の準備，ボール拾い，練習相手，用具の片付け，試合	・資料を読み聞かせた後，どんな仕事をしているかを確認する。

	<p>◎ どうしてヤマさんは、目立たないのにこんなに大変な仕事をずっと続けてきたのでしょうか。</p> <p>○ 優勝したとき、選手がヤマさんにシャレーを渡したのはどうしてですか。</p> <p>3 学級や学校を支えているのはだれなのか考え、話し合う。</p> <p>○ クラスや学校を支えている人にどんな人がいますか。</p>	<p>の準備、トラックを運転して荷物を運ぶ……</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 勝ってほしいから。 ・ 勝つために、ホペイロの仕事が大事だから。 ・ 自分の仕事に誇りをもっているから。 ・ 選手が自分の仕事の重要さを理解してくれているから。 ・ ヤマさんが、目立たないところでも自分たちのために、一生懸命仕事をしてきてくれたから。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分や友達 ・ いろいろな先生 ・ 委員会 ・ 係や当番 ・ 親や地域の人 ・ 給食の配膳員さん ・ 交通ボランティアの方 ・ グリーンボランティアの方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ さらに、ビデオで実際の仕事の様子を見せ、膨大な量の仕事を一人でこなしている大変さ、選手とは違って裏方で目立たない仕事であることを実感させる。 ・ ワークシートに自分の考えを書かせ、それを基に話し合わせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山川さんが、自分の役割を責任を持って果たしてきたことと、選手が感謝していたことを確認する。 <p>☆ 自分の役割に価値を見出していること、周りが自分の価値を理解してくれていることに気付くことができたか。 (ワークシート・発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな人が、それぞれの役割を果たしていることで、集団生活が成り立っていることに気付かせる。 ・ 普段目立たないところで支えてくれている人達を写真で紹介する。 ・ クラスや学校にヤマさんのような人がいなかったらどうなるかも考えさせる。 ・ 児童が仕事をしている様子をパワーポイントで提示しお互いに支え合っていること、自分が集団の一員として存在していることを感じさせる。
--	--	--	---

終末 (10)	4 これから大切にして いきたいことを考える。 ○これから自分は、クラス や水の江小の一員とし てどんなことをしてい きたいですか。	・委員会の仕事をこれからもが んばりたい。 ・目立たない仕事でも本気でや っていこうと思う。	・これからこんな自分になり たいという思いをワークシ ートに書かせる。 ☆自分の役割を自覚し、協力 して主体的に責任を果たそ うとする気持ちをもてた か。(ワークシート・発言) ・グリーンボランティアの方 の手紙を読む。
------------	---	---	--

(5) 他の教育活動との関連

- ・委員会活動に主体的に参加するよう促し、責任を果たそうと努力する姿を見かけたら積極的に他の児童に紹介するようにし、継続して取り組めるようにする。
- ・総合的な学習の時間「ありがとう6年生！」において、計画・運営・実践を通して、次年度最高学年になる自覚や意識を高めさせる。

2 事後検討会

(1) 授業記録

T この人を知っていますか。

S 長友選手

T サッカーチームという集団の中にいる人です。どんな人がこのチームを支えていますか。

S コーチ、監督、サポーター

T もう一人役割がある人がいるのですが、知っていますか。

T 「ホペイロ」と呼ばれる人です。用具係のことです。長友選手もいたことのあるFC東京に「山川幸則さん」というホペイロがいます。山川さんは、小さいころサッカー選手になりたかったのですが、体があまり強くなって選手になることをあきらめてこの仕事を選んだそうです。もうこの仕事を10年以上続けています。

T 今日は、ホペイロという仕事を通して、集団生活をよりよくしていくにはどうしたらよいかを考えていきましょう。

(資料を読む)

T ヤマさんは、どんな仕事をしていましたか。

S 用具の片づけや整理。

S 食べ物を用意したり運んだりする。

S 選手の練習相手。

(ビデオを見せる)

T ヤマさんの仕事をどう思いますか。

S すごく大変。

S 細かい。

T ヤマさんはどんな場所で働いていましたか。

S 目立たないところ。

T どうしてヤマさんは、目立たないのにこんなに大変な仕事をずっと続けてきたのでしょうか。

(ワークシートに記入)

S 目立たなくても選手に感謝してもらっているから。



- S ホペイロでも選手を支えられるから。
- S 選手が声をかけてくれるから。
- S チームに自分が必要とされているから。
- S 試合に勝ってほしいから。
- S 自分だけの仕事でやりがいがあるから。
- T では、みんなに聞きたいのですが、優勝した時に選手がヤマさんにシャールを渡しましたが、なぜヤマさんに渡したのだと思いますか。
- S 今まで支えてきたから。
- S ヤマさんのおかげで勝ったから。
- T ヤマさんのおかげとは、ヤマさんのしてくれたことで選手たちはどうなったということですか。
- S 気持ちよく試合ができた。
- S 実力が発揮できた。
- T つまり、ヤマさんが責任をもって働いてくれていたから実力が発揮できた。だから、選手たちはヤマさんの仕事ぶりを認めていたということですね。
- T みんなは、5-1や水の江小という集団の中にいますね。クラスや学校を支えてくれている人はどんな人達ですか。
- S 先生
- S 友達、自分
- S 委員会、係、学級役員
- S 地域の人
- T 水の江小にもヤマさんみたいな人がいるよね。
- T 配膳員さん、交通ボランティアの方、グリーンボランティアの方
- T 本当に自分も支えているのでしょうか。これを見てください。
(パワーポイントを見せる)
- T それぞれがそれぞれの所で支えてくれていましたね。係ではない人が手伝ってくれているときもありましたね。こういう人がいなかったらどうなりますか。
- S 当たり前で生活できなくなる。
- T そうですね。当たり前で生活できるのは、みんなが支えあっているからです。
- T 今日の学習を振り返って、これから自分がクラスや水の江小の一員としてやっていきたいことを書きましょう。
- S 委員会でも係でも自分のためにも友達のためにもできることをやっていきたい。
- S 協力したりムードメーカーとして頑張って、笑顔いっぱいの水の江小にしたい。
- T グリーンボランティアの方の手紙を最後に読みます。



(2) 授業の感想

(児童の感想)

- ・当番や委員会に責任を持って取り組んだり、係じゃなくても手伝いをしたりしていきたい。
- ・学校やクラスを支えられるように係の仕事や委員会などの身近なことを真剣にやる。
- ・もうすぐ最高学年だから、最高学年としてクラスや学校を支えていきたい。
- ・今までは人に頼ったり、見て見ぬふりをしたりしていたこともあった。だから、積極的に働いたり気配りしたりしていきたいと思った。

(参観者の感想)

- ・FC東京の山川さんの仕事を通して、人が見ていなくても、知られていない仕事でも大切なこと

があることを子供達は学んだのではないのでしょうか。

- ・「ホペイロ」の役割を通して、目立たない所で忍耐力をもってずっと自分の仕事を続けるケーススタディは、子供達に有効であると思います。これからも道德の授業を地域に公開して欲しいと思います。
- ・学習問題を明確に出してねらいを子供達に意識させる方法は、目新しく大変勉強になりました。評価も1時間ごとの見取りが重要だと改めて感じました。
- ・自分の考えを素直に堂々と言えることに感動しました。道德の時間だけでなく、普段からの話し合い活動の実践の結果だと思い、積み重ねの大切さを感じました。
- ・「ホペイロ」という子供達にとっては身近でない存在が、先生の「水の江小にもヤマさんみたいな人がいるよね」という一言で、視点や考えがぐっと近いところに引き寄せられていました。終末に、グリーンボランティアの方からの手紙の朗読をするという方法も示唆的で子供によっていろいろな受け止め方もあり、よかったです。
- ・「ホペイロ」という馴染みのない職業ですが、目立たないけど周りのために欠かすことのできない役割であることに気付き、自分たちの周りにもそのような存在の人がいることに気付けたことだけでも収穫があったと思います。道德で横書きの板書は初めて見ましたが、板書もすっきりまとまっていて、後日ノートで振り返った時にも分かりやすいなと感じました。
- ・終わりに、クラスの写真を用いて、普段気付かない所で支えている仲間や自分に気付かせている所も何か温かく良い雰囲気だなと思いました。人との関りが薄い最近、道德の授業が担う役割はさらに大きいと思います。小学校で育てた心を中学校でもさらに耕していきたいと思います。

3 本事例の活用に関する留意点

(1) 価値に迫るための工夫

- ・目立たなくて大変な仕事だということを実感しなければ、主発問に対して薄っぺらい考えしか出てこない。そこで、「ホペイロ」という馴染みのない職業を資料だけでは理解しがたいと考え、実際に仕事をしている様子も動画で見せ、目立たなくて大変な仕事であることを実感させるようにした。
- ・身近な存在ではない「ホペイロ」の話だけでは、自分ごととして考えることは難しい。自分だったらどんなことができるかを考えさせるために、自分たちの周りにはいる「ホペイロ」のような存在の人を紹介したり、委員会・係活動・当番活動・手助けしている普段の自分たちの様子をパワーポイントで見せたりして、自分ごととして考えさせるようにした。

(2) ワークシートの工夫

- ・ふり返りの時間を確保するために、発問に対する考えは、しっかり発言させたい主発問のみ書かせた。
- ・ふり返りは、「これから自分が大切にしたいこと」としてしまうと、抽象的な考えを書くことが考えられたので、「これから自分がクラスや学校の一員としてやっていきたいこと」とし、より価値に迫って考え、書かせることで、評価にも生かせるようにした。

